

休業中課題作文

「中1時代を語る」～伝えたい思いを文章に表す～

ねらい

- ① 文章を書くスピードや文字の形の把握（書字運動や文章構成力、語彙力を確かめる）
- ② 原稿用紙の使い方のレベルを知る
- ③ 昨年受け持っていない生徒の昨年までの様子を知る

今回だけの特別ルール

- 毎年行われている「横浜市立中学校作文コンクール」への出品を希望する場合は、規定や審査内容を意識して書きましょう。【④生活・随筆 ⑤意見・主張に該当するはすです】
- 内容によって成績が付けられることはありません。ねらいを基に観察・分析します。
- 誰に詠んでもらいたいのかをイメージして書きましょう。（新しい先生や仲間、社会等）良かったこと・思い出・苦しかったこと・感謝・〇〇先生のことなど何を書いても大丈夫です。
- 授業再開後 最初の授業で回収します。途中でも結構です。
- 原稿用紙の使い方や文字の形、表現の力を発揮してください。ここが知りたいです。

参考資料（【令和元年度横浜市立中学校作文コンクール募集案内】より）

応募案内

1. テーマ 「『伝えたい』思いを文章に表す」
2. 文種と枚数 ①詩 ②短歌 ③俳句 ④生活・随筆 ⑤意見・主張 ⑥読書感想
①は字数制限なし。②は一人三首、③は一人三句とする。
④⑤⑥は原稿用紙3枚以上6枚以内とする。
3. 応募制限 各中学校で作品を審査し、文種ごと学年で一点ずつの出品を認めるものとする。
4. 表彰 各文種、学年ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作を決める。
また、各文種の最優秀賞の作品の中から、横浜市教育長賞を選ぶ。④⑤の最優秀賞の何点かを神奈川県作文コンクールに出品する。

	審査の重点とすべき項目
④	<ul style="list-style-type: none">・日常生活の中で感じた思いが、自分にとっての特別な出来事となって読み手に伝えられている。・具体的で生き生きとした事実が語られていて、読み手が引き込まれてしまうような魅力的な表現が盛り込まれている。・文章の構成や文体に工夫が見られる
⑤	<ul style="list-style-type: none">・他人の意見の受け売りではなく、自分の言葉で、自分の思いが語られている。・主張がはっきりしていて、一貫性がある。・自分の考えを自分で分析し、その考えの根拠が説明されている。・読み手がいることを前提として、文章の組み立てが工夫されている。

